

科目名	疫学概論	code : EPI 201	必修	4 単位
-----	-------------	----------------	----	------

科目責任者	矢野 榮二 教授
-------	----------

配当年次	1年次	配当学期	前期	曜日・時限	木曜 3、4時限	授業方法	講義・演習
------	-----	------	----	-------	----------	------	-------

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> 科学的な思考方法の基礎となり、合理的な意思決定に必須の疫学の考え方を修得する。 各種疫学研究の技法を修得し、研究論文の批判的吟味と研究計画立案の方法を学ぶ。
------	---

授業の概要	疫学研究方法論の基礎について学ぶ。疫学の定義、因果関係の立証法、疫学研究の倫理指針(同意・個人情報保護を含む)にはじまり、記述疫学研究と仮説検証研究(観察研究と介入研究)の違いといった研究の分類を学ぶ。観察研究では横断研究、縦断研究(コホート研究、症例対照研究)における疫学指標、各種バイアス、研究デザイン上の特徴について学ぶ。また、介入研究では無作為化比較試験を含む患者臨床試験についてその構造や疫学指標について、システマティックレビュー、メタアナリシスについてもその構造や問題となる各種バイアスについて学ぶ。なお各日、講義の後半は演習にあて、練習問題や質疑を通して理解を確実なものにする。
-------	--

授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容
	1	4/9(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	医学と疫学 今日の医学の主流である生物医学的考え方と対比しつつ疫学的考え方への位置づけを学ぶ。
	2	4/16(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	仮説と因果関係 科学的思考の基礎として仮説の一般構造を考え、それを証明する因果関係の考え方を学ぶ。
	3	4/23(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	疫学研究の分類 仮説を証明する論理的方法として疫学研究のタイプ分けを学ぶ。
	4	4/30(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	チャンスとバイアス： 誤った判断を引き起こす原因を分類し、そのうちのバイアスのタイプ分けを学ぶ。
	5	5/7(木)	3-4	福田 吉治 教授 桑原 恵介 助教	疫学研究分類とバイアス： バイアスを疫学研究の分類と関連づけて類型化し、その認知方法を学ぶ。
	6	5/14(木)	3-4	山岡 和枝 教授	疫学と統計学
	7	5/21(木)	3-4	福田 吉治 教授 桑原 恵介 助教	横断研究と記述研究
	8	5/28(木)	3-4	福田 吉治 教授 桑原 恵介 助教	コホート研究
	9	6/4(木)	3-4	山岡 和枝 教授	介入試験、無作為比較対照試験
	10	6/11(木)	3-4	福田 吉治 教授 桑原 恵介 助教	症例対照研究
	11	6/18(木)	3-4	山岡 和枝 教授 桑原 恵介 助教	メタアナリシス
	12	6/25(木)	3-4	野村 恭子 准教授 桑原 恵介 助教	スクリーニング
	13	7/2(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	Study Critique
	14	7/9(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	疫学研究計画立案
15	7/16(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	疫学と公衆衛生	

事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の該当箇所を事前に読んでおくこと。
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・ケースで学ぶ公衆衛生学 第2版 篠原出版新社
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・「医学的研究のデザイン」木原雅子他訳 メディカルサイエンスインターナショナル ・「ロスマンの疫学」第2版 Kenneth J. Rothman著 篠原出版新社
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習の課題1割、期末試験7割、講義への参加度2割で評価する。

科目名	臨床疫学概論	code : EPI 221	選択	4 単位
-----	--------	----------------	----	------

科目責任者	矢野 榮二 教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	後期	曜日・時限	木曜 3、4時限	授業方法	講義・演習

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・根拠に基づく医療(Evidence Based Medicine: EBM)の基盤となる臨床疫学に関する知識を習得し、臨床・保健医療の現場で科学的な医療を実践する力を身に付ける。 ・臨床疫学研究論文(英文)を実際に読んで討論し、論文を批判的に吟味する能力を実践的に習得する。
------	---

授業の概要	<p>科学的な保健医療の実践に当たり、その根幹となるEBMを学ぶ上で学問的基盤となるのが臨床疫学である。ここでは現場実践上のプロセスから生じるテーマ(異常、診断、頻度、リスク、予後、治療、予防)に基づきアプローチし、データの取り扱い・異常の判断基準、検査の有効性(感度、特異度、事後確率、ROC曲線)、リスクの評価、研究デザインとバイアス、臨床研究で用いられる統計解析結果の解釈(ロジスティック回帰分析、生存分析)、ランダム化比較試験、論文検索(系統的レビュー、コクランライブラリー)、臨床データ管理、臨床ガイドラインの検索と利用法、などについて、実例を用いて学習する。実例は教科書内のコラムや教員が示すもののほか学生の経験や課題研究に派生したものをを用いる。講義の後半は教科書の巻末問題を議論するが、そこも含め小グループでの討論を行い、そこでの積極参加を重視する。例年、講義時間の後半はスタディクリティーク(論文の批判的精読)であったが、その部分は別の科目として独立したので、合わせて履修することが望ましい。取り扱う話題は臨床医学上のものが多いがそれに限定せず、受講も医療関係者に限るものでなく、逆に非医療者が臨床医学の現場での思考方法に触れる機会にもなる。</p>
-------	--

回数	日付	時限	担当者	授業内容
1	9/17(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	臨床疫学序論 臨床疫学、根拠に基づいた医療のアウトラインについて学ぶ。 臨床疫学研究に関する基本的な知識を再確認するとともに、全体のコースの流れを確認する。
2	9/24(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	頻度 頻度について、表し方、取得方法、妥当性に関する解釈などを学ぶ。
3	10/1(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	異常 データの種類、測定性能・変動、異常の判定基準等について学ぶ。
4	10/8(木)	3-4	福田 吉治 教授 桑原 恵介 助教	リスク:基礎的な概念 リスクの認知、予測、評価及びその応用について学ぶ。
5	10/15(木)	3-4	福田 吉治 教授 桑原 恵介 助教	リスク:曝露から疾患 コホート研究を中心に、集団を前向きに観察することにより、リスクを評価する方法及び交絡について学ぶ。
6	10/22(木)	3-4	福田 吉治 教授 桑原 恵介 助教	リスク:疾患から曝露 症例対照研究を中心に、時間をさかのぼって観察することにより、リスクを評価する方法やオッズ比について学ぶ。
7	10/29(木)	3-4	福田 吉治 教授 桑原 恵介 助教	予後 疾患の転帰としての予後の評価方法について学ぶ。
8	11/12(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	診断 検査の正確さ、感度、特異度、予測値、尤度、繰り返し検査の評価について学ぶ。
9	11/19(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	治療 仮説の検定、介入研究など治療が有効であるかの判断、特にランダム化比較試験を解釈する上で必要となる知識について学ぶ。
10	11/26(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	予防 予防に関連する原理・戦略方法について学ぶ。
11	12/3(木)	3-4	矢野 榮二 教授 桑原 恵介 助教	偶然 仮説検定、必要標本数、信頼区間、多重比較、サブグループ解析、多変量解析、ベイズ理論について学ぶ。

授業計画	12	12/10(木)	3-4	矢野 榮二 桑原 恵介	教授 助教	因果 因果関係の基本原則、因果関係を支持または否定する根拠について学ぶ。
	13	12/17(木)	3-4	矢野 榮二 桑原 恵介	教授 助教	エビデンスの集約 システマティック・レビューの方法、メタ分析、エビデンスの内容を吟味する方法について学ぶ。
	14	12/24(木)	3-4	矢野 榮二 桑原 恵介	教授 助教	知識管理 臨床の知識管理に対する最新のアプローチ、臨床診療ガイドラインの利用法などについて学ぶ。
	15	2/4(木)	3-4	矢野 榮二 桑原 恵介	教授 助教	全体のまとめ、予備日
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・教材の該当箇所を事前に読んでおくこと。 ・分担当当日は教科書該当章に関連した自験例を提示すること。 					
テキスト	Clinical Epidemiology: The Essentials 5th edition Robert H. Fletcher, Suzanne W. Fletcher Lippincott Williams & Wilkins, 2014 - 255 pg.・「臨床疫学」ロバート・H・フレッチャー他著 メディカルサイエンスインターナショナル					
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・「医学的研究のデザイン」木原雅子他訳 メディカルサイエンスインターナショナル ・「ロスマンの疫学」第2版 Kenneth J. Rothman著 篠原出版新社 					
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・講義・演習の課題6割として、分担当課題の準備2割、講義への参加度2割を評価する。 					

科目名	質的研究	code：EPI 241	選択	1 単位
-----	-------------	--------------	----	------

科目責任者	高橋 謙造 准教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	後期(前半)	曜日・時限	水曜 1, 2時限	授業方法	講義・演習

到達目標	地域における健康と保健・医療に関する課題の発見、コミュニティづくり、ステークホルダーと協働した問題解決を行うのに必要な、質的研究方法についての理論的知識、実践能力、および研究手法を身につける。
------	--

授業の概要	地域保健に関する研究において、 1) 科学的な質的研究法についての知識の習得 2) 研究課題に即した情報提供者からの情報収集とテキスト解釈方法についての知識および技術の習得 3) 公衆衛生専門家として課題発見、解決、研究活動を行うことができるようになることをめざし、質的研究に関して講師および受講生同士でディスカッションを行う。
-------	---

授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容
	1	9/30(水)	1	高橋 謙造 准教授 高木 廣文 講師(非)	質的研究概論(混合研究法・疫学調査・質的調査)
	2	9/30(水)	2	高木廣文 講師(非)	質的研究と量的研究
	3	10/7(水)	1	高木廣文 講師(非)	さまざまな質的研究の方法について
	4	10/7(水)	2	高木廣文 講師(非)	質的研究の科学性に関する諸問題
	5	10/14(水)	1	高木廣文 講師(非)	質的研究のテキスト解釈に関する諸問題
	6	10/14(水)	2	高木廣文 講師(非)	グラウンデッド・セオリー・アプローチによるテキスト解釈(1)
	7	10/21(水)	1	高木廣文 講師(非)	グラウンデッド・セオリー・アプローチによるテキスト解釈(2)
	8	10/21(水)	2	高木廣文 講師(非)	発表・討論・まとめ

事学前準備	履修学生に事前に配布する。
-------	---------------

テキスト	特に指定しない。
------	----------

参考書	1. 質的研究を科学する(高木廣文) 医学書院 2. 質的研究実践ガイド(キャサリン・ホープ、ニコラス・メイス) 医学書院 3. グラウンデッド・セオリー・アプローチ分析ワークブック 第2版(戈木クレイグヒル滋子編) 日本看護協会出版会 4. 新版 質的研究入門<人間の科学>のための方法論(ウヴェ・フリック) 春秋社+B28
-----	--

評価方法	授業への積極的な参加50%、発表およびレポート50%
------	----------------------------

科目名	スタディクリティーク	code : EPI 301	選択	2 単位
-----	------------	----------------	----	------

科目責任者	野村 恭子 准教授						
配当年次	1・2年次	配当学期	前・後期	曜日・時限	木曜 5 時限	授業方法	演習

到達目標	<ul style="list-style-type: none"> ・疫学研究論文を実際に読んで討論し、論文を批判的に吟味する能力を実践的に習得する。 ・各種疫学研究の技法を修得し、研究論文の批判的吟味と研究計画立案の方法を学ぶ。 						
授業の概要	<p>Study Critiqueとは日本語で批判的吟味を意味する。我々が必要な情報について科学的根拠を得るときに読む疫学論文は、結果を鵜呑みにするのではなく、何が正しく、またどこに弱点(バイアスやチャンス)がかかっているのか整理しながら情報を取捨選択しなければならない。本科目では、海外の一流雑誌New England Journal of Medicine, British Medical Journal, JAMAなどに掲載された疫学研究を批判的に読み解きエビデンスについて学ぶ。用いる論文は、歴史的に有名な疫学論文から最新の論文、あるいは参加者の希望する論文をも扱う。なお本科目は本学の女性医師・研究者支援センターが開催しているジャーナルクラブと合同で開催する。場所は病院6階医局内の女性医師・研究者支援センターにて行うので、医局の入り口で女性センターの内線(34670-2)を鳴らすようにしてください。</p>						
授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容		
	1	4/9(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	2	4/23(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	3	5/28(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	4	6/11(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	5	6/25(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	6	7/9(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	7	7/23(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	8	8/27(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	9	9/10(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	10	9/24(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	11	10/8(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	12	10/22(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	13	11/12(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	14	11/26(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
	15	12/10(木)	5	野村 恭子 准教授	Study Critique		
事前準備	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回事前配布される論文を事前に読んでおくこと。 						
テキスト	<ul style="list-style-type: none"> ・毎回事前配布 						
参考書	<ul style="list-style-type: none"> ・「医学的研究のデザイン」木原雅子他訳 メディカルサイエンスインターナショナル ・「疫学」木原正博他訳 メディカルサイエンスインターナショナル 						
評価方法	<ul style="list-style-type: none"> ・授業への積極的な参加、演習の課題により評価し、判定する。 						

科目名	特別講義(疫学) (※1)	code：(※1) EPI 401~403	選択	1 単位
-----	---------------	--------------------------	----	------

科目責任者	Martin Burton客員教授(※)						
配当年次	1・2年次	配当学期	冬季(1月)	曜日・時限	後日通知	授業方法	集中講義

到達目標	<p>本講義の目的は疫学研究のデザインとデータ解析の概念的基礎を提示することである。この「基礎」には原因を定義する概念的根拠、因果推論の理解、疾患発生と曝露の計測、信頼性と妥当性を高めるためのコホート研究と症例対照研究のデザイン、データの解析と解釈のための量的方法が含まれる。本講義の修了生の到達目標は以下のとおりである。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 批判的評価とデータ分析の技術を身につける ・ システマチックレビューの正式な過程を使ってエビデンス合成の性質と技術を理解する ・ 治療と診断に関する論文評価に必要な基礎的統計概念を復習する ・ ガイドラインの理論と作成を理解する ・ 臨床ガイドラインを評価する ・ 医療政策策定と資源配分の原理を理解する ・ 英国医療制度を理解する ・ 研究の価値の必要性を認識する
------	--

授業の概要	<p>本講義では臨床研究のメタ解析から臨床ガイドライン作成の過程を学ぶ。 (※1)年度により開講内容が異なる場合があり、I～IIIのいずれかを開講する。</p>
-------	--

授業計画	回数	日付	時限	担当者	授業内容
	1			Martin Burton 教授(客)	オックスフォード式教育法・システマチックレビューとコクラン共同計画
	2			Martin Burton 教授(客)	批判的評価の理論(治療)・治療に関する論文の批判的評価(I)
	3			Martin Burton 教授(客)	批判的評価の技術・治療に関する論文の批判的評価(II)
	4			Martin Burton 教授(客)	ガイドライン・有効性の問題
	5			Martin Burton 教授(客)	システマチックレビュー技術・臨床的問題の定義とプロトコル化
	6			Martin Burton 教授(客)	批判的評価の理論(診断)・診断に関する論文の批判的評価(I)
	7			Martin Burton 教授(客)	批判的評価の技術・診断に関する論文の批判的評価(II)
	8			Martin Burton 教授(客)	ガイドライン・臨床研究の高価値化
	9			Martin Burton 教授(客)	有効性の問題・診断検査の正確性に関する論文の批判的評価
	10			Martin Burton 教授(客)	文献検索法・論文選定法
	11			Martin Burton 教授(客)	批判的評価技術・システマチックレビューの評価
	12			Martin Burton 教授(客)	ガイドラインの臨床導入・ガイドラインの批判的評価
	13			Martin Burton 教授(客)	臨床医療のバリエーションと「共同意思決定」・バイアスの危険
	14			Martin Burton 教授(客)	コクランバイアス危険ツール・システマチックレビューの評価
	15			Martin Burton 教授(客)	メタ解析・医療政策と資源
	16			Martin Burton 教授(客)	英国医療制度・評価

(各回終了後には、日本人教員による補講が行われる。)
 ※担当教員については変更となる場合があるが、その場合は記載がある予定教員と同等レベルの教員が任命される。
 ※また、具体的な授業日時については毎年9月-10月頃に設定され、決まり次第学生に対して通知する。

事前準備	事前にテキストや講義用資料が専用HP上に公開される。
------	----------------------------

テキスト	Trisha Greenhalgh: How to Read a Paper: The Basics of Evidence-Based Medicine Bjorn Andersen: Methodological Errors in Medical Research - an incomplete catalogue
------	--

参考書	講義で紹介。
-----	--------

評価方法	授業への参加、小テスト、最終日の提出物
------	---------------------